

沖縄平和行進に参加して

臨港分会 石田太一

5月16日（金）～19日（月）の日程で「5・15沖縄平和行進」に参加させていただきました。初日に三単産団結式に参加し、皆さんの決意などを聞き、自分自身もしっかりと取組み行わなければいけないと改めて思われました。

2日目の平和行進では、普天間基地コースを行進しました。はじめに思ったのは、普天間基地の広大さに驚きました。沖縄の人が言っていた基地の中に沖縄があるとはこのことだったのだと実感させられました。行進当日は、とても蒸し暑く大変な行進となりましたが、参加者の力強いシュプレッヒコールもあり最後まで行進することができました。行進中は、沿道や車の中からたくさんの声援がありました。また、手を振ってくれる子供たちやお母さん、手を合わせて拝んでいたおじいさんや一緒にシュプレッヒコールをしてくれた人もいて、私たちはその度に元気をもらいました。それと同時に、沖縄県の人たちが米軍基地をなくしたいと思っている気持ちを改めて感じました。

視察では、ひめゆり資料館、平和祈念館など多くの場所に行きました。最初はひめゆり資料館に行きました。その中でひめゆり学徒隊の最後の地の一つである慰霊碑を見に行きました。私が想像しているよりも大きく驚きました。その後、資料館に入りましたが、空気が重く感じました。沖縄戦の様々な状況書かれていて、それを読んでとても心に来るものがありました。ひめゆり平和記念資料館で命の尊さを改めて考えることができました。平和祈念公園では、戦争の恐ろしさを実感しました。沖縄は、日本で唯一地上戦が行われた場所でたくさん心が痛くなる写真がありました。たくさんの戦争展示品の中で私が一番印象に残っているのは、家族への手紙です。その手紙を読んでいると二度と戦争はしてはいけないと強く思いました。沖縄平和行進に参加して、沖縄の人たちの想いと戦争の悲惨さを学ぶことができた4日間になりました。貴重な体験をありがとうございました。